



子どもたちの元気な姿に自然と笑顔があふれる地域の皆さん

笑顔いっぱい童心に戻る 冬部児童館で地域交流会

冬部児童館（児童5人）の地域交流会は9月4日、地域のお年寄りら約30人が集まり児童館に通う子どもたちと交流を深めました。交流会では、二つのチームに分かれ、さまざまなゲームを行い白熱する場面も。参加者たちは元気いっぱいに動き回る子どもたちを優しいまなざしで追いながら、笑いに包まれた世代間交流を楽しんでいました。参加した坂井チヨさん（75歳、境の沢）は「子どもといると自然に体が動きます。自分も子どもに戻ったようです」と目を細めていました。

五・七・五 17音に気持ち込め 俳句づくりに挑戦

葛巻小学校（佐藤隆司校長、児童110人）の俳句教室は9月14日に行われ、齋藤誠子さん（下町）を講師に、2年生と6年生が俳句づくりに挑戦しました。2年生の教室では、子どもたちが事前に考えた作品を基に、より情景を伝えるためにはどうしたらいいのかが講師のアドバイスを聞きながら指折り数え、書き出していました。上家崇雅くんは「2つ目の俳句が作れなかったので残念です。次はたくさん作りたいです」と創作意欲をかき立てられたようでした。



齋藤誠子さん[㊟]のアドバイスを聞きながら俳句で伝えたいことを表現する言葉を考える児童たち

日ごろの活動が認められ 市部内自治会 道路功労者表彰受賞

日本道路協会の道路功労者表彰の表彰伝達式は8月23日、盛岡市内丸の盛岡地区合同庁舎で行われ、市部内自治会（下村徳廣会長、27世帯）が表彰されました。この表彰は、道路事業に貢献し、その功績が認められた団体や個人を表彰するもの。市部内自治会は、主要地方道一戸葛巻線の道路沿い（延長1.4*[㊟]）の草刈りを平成11年から実施しています。下村会長は「地区の皆さんの頑張りが認められた」と喜び、活動を続ける地域の皆さんに感謝していました。



県盛岡広域振興局の佐々木一彦土木部長から表彰状を手渡される下村徳廣市部内自治会長[㊟]



新病院開設1周年を記念して行われた講演会の様子と「健康寿命をのばすには」と題して講演する遠藤秀彦院長（円内）

新病院開設1周年 記念講演会を開催

9月4日、葛巻病院の活・いきホールで「葛巻病院公開講演会」が開催され、地域住民や医療関係者など約100人が集まりました。新病院開設1周年を記念して遠藤秀彦院長が「健康寿命をのばすには」と題して講演し、平均寿命と健康寿命の違いや、これからの時代に求められる病院の取り組みなどを解説。治療して終わりではなく、その後も地域で支えていくことの大切さを伝えました。参加者たちは、メモを取りながら真剣に耳を傾けていました。

自然に抱かれ音を楽しむ 森のごろんコンサート[㊟]

ごろんコンサートと森のクラフト市は9月2日、森のこだま館周辺で同時開催されました。会場には、町内外から多くの人たちが訪れ自然の癒やしと手作りの楽しさを満喫しました。森の魅力を伝えながら全国を巡るシンガーソングライター山田証さんの「ごろんコンサート」には、約30人の参加者がミズナラの木の下に集合。ごろんと寝ころんで、自然に溶け込むような透き通った山田さんの歌声に耳を澄ました。明石悠那ちゃん（6歳）は「楽しかった。また聞きたいです」と満足げな様子でした。



ミズナラの木の下で寝ころんで、シンガーソングライターの山田証さん（中央）の歌声に耳を澄ます参加者の皆さん

中学生が職場体験 看護の現場を学ぶ

小屋瀬中学校（佐久山明彦校長、生徒16人）と江刈中学校（加藤純校長、生徒30人）は町内での職場体験学習を実施。9月6日と7日の2日間、葛巻病院での職場体験を希望した両校の生徒らは、白衣に身を包み看護の現場を学びました。初日は、病院の役割や仕事の内容の説明を受けた後、ベッドメイキングや感染対策などを体験。現役で活躍する看護師から直接看護の基本を学習するとともに、体験を通じて仕事を学ぶうえでの心構えを学んでいました。



入院用ベッドに使用されるマットの硬さの違いについて看護師から説明を受ける生徒たち